

なぞのハエトリグモ「エビスハエトリ」の正体を追う



自然・環境評価研究部 系統分類研究グループ

山崎 健史

なぞのハエトリグモ

兵庫県から採集された1つの標本（メス個体）のみにもとづき、1987年に、ポーランドの研究者らが *Yaginumaella hyogoensis*（和名：エビスハエトリ）というハエトリグモを記載しました。しかし、それ以降、本種の追加記録はなく、また、オスの正体も不明のままです。

エビスハエトリを正しく認識する



エビスハエトリ、ホロタイプ

エビスハエトリが記載された論文には、生殖器の図しか掲載されていませんでした。

まず、エビスハエトリはどんな風貌なのか、ポーランドの博物館に収蔵されているホロタイプを、現地の研究者の協力を得て、調べました。

エビスハエトリの正体は？

実は、エビスハエトリは、ウススジハエトリ（*Yaginumaella striatipes*）の色彩変異なのではないかという疑いがあります。

ウススジハエトリは、山地で比較的、普通に見られるハエトリグモです。色彩に多型があることが知られています。この多型のひとつが、エビスハエトリとして記載された可能性があります。



ウススジハエトリ

エビスハエトリの正体解明のために

今後、兵庫県内各地から、ウススジハエトリとエビスハエトリらしきものを、たくさん集める必要があります。それらの形態的な違いが、種 species を分けるべきものか、形態的・遺伝学的アプローチでの検討が必要になります。